

駅西口駅前広場は市民が使いやすい駐輪場やトイレの整備を

頼高市長 蕨の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある駅前空間を創出することを基本として「安全性の向上」、「利便性の向上」、「快適性の向上」の3つの整備方針を掲げた。この事業を通して魅力的なまちへと発展させていく。公共公益施設の1階に共用のトイレが設置される予定。図書館を利用する子どもたちや学習スペースを利用する方の利用時には90分無料を拡大できるように協議していきたい。

山脇 具体的な工事時期や近隣・駅利用者への影響はどうか。

都市整備部長 夏頃に工事契約を締結した後、準備期間を経て着手する予定。7番街区に続く区画街路の拡幅整備は令和9年夏頃までの施工が予定され、駅前広場本体は、その後、定まっていく。駅前広場や周辺道路を供用しながら工事を進めるため、一時的な通行経路の変更や迂回などが必要となる。

新図書館の整備について

山脇 現図書館の跡地利用の検討は進められているか。乳幼児が本とふれあえるスペースや児童図書館として残してほしいとの声もあるが

どうか。

総務部長 跡地等活用方針検討委員会を設置し、調査等を行っている。様々な要望を寄せていただき、今後、文化芸術の拠点として検討していく。

「子育てするならわらび」子育て支援策の拡充を

山脇 保育園等の不承諾者数と待機児童数はどうか。

健康福祉部長 保育園の不承諾者数は35人、待機児童数は0人。留守家庭児童指導室の不承諾者は58人。

山脇 保健センターで行われている「マタニティコンサート」への参加状況は。乳幼児と一緒に鑑賞できる音楽鑑賞会をもっと増やしてほしいがどうか。

健康福祉部長 毎年12月に保健センターが文化ホールくるへ委託し実施し令和7年度は106名。児童館や地域子育て支援センター等においてもファミリーコンサートや親子コンサートなど乳幼児と一緒に鑑賞できるコンサートを実施しているので、母子健康手帳アプリ「わらび」等を通じて積極的に情報発信をして行きたい。



【やまわき紀子のプロフィール】

- わらび生まれわらび育ち
- 現在、市議7期、環境福祉経済常任委員会副委員長、原水爆禁止蕨市協議会副会長。保育園、学童、小中高校PTA役員など歴任
- 南町在住 TEL・FAX446-3129

鈴木さとし議員の一般質問項目

- ◆中東情勢の影響による物価高騰・ナフサ不足に対策を
- ◆暮らし応援券・織りなすクーポン事業について
- ◆京浜東北線のマンマン運転化の問題点と本市の対応



市立病院の移転・建替え さらに市民の要望に応えた病院へ

◆市立病院の移転・建替え事業では、3月議会での議論を受け、昨年の検討した基本設計の検証作業がすすめられました。主な変更などは以下の通りです。

●医療需要の変化や建築費の高騰等に対応する見直しでは、透析や手術室の見直し、病床数108床への減少(47%の51床は個室)などにより概算工事費2億700万円減となる計画です。

●1階の感染症外来の位置を変更しスタッフ動線と医療効率を改善。2階健診センター付近の検診と外来、検

査の動線・待合を分離するなどプライバシーや使い勝手に配慮した設計になります。

◆危機打開プランに基づく病院経営の改革も前進しています。救急搬送の受け入れ増などで病床利用率が大幅に増加。引き続き外来医療を含めた目標達成を目指す方針です。日本共産党市議団は、市民の医療ニーズに応えた取り組みで持続可能な経営改善を図る対応を求めてきました。

